

屋外電力用仮設ボックス

安全に使用するための注意事項

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読み
のうえ、指示に従って正しくご使用ください。

●注意事項は「△警告」・「△注意」に区分しています。

△警告	誤った取扱いをすると、使用者が死亡 または重傷を負う可能性が想定される 内容のご注意です。
△注意	誤った取扱いをすると、使用者が傷害 を負う可能性が想定される場合、およ び物的損害のみの発生が想定される内 容のご注意です。

なお「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

施工年月日	年	月	日
施工電気工事業者名			
TEL			

テンパール工業株式会社

広島市南区大州三丁目1番42号 〒732-0802
http://www.tempearl.co.jp/

【技術問い合わせ窓口】
TEL (082)287-9110 FAX (082)283-4534
受付時間：9:00～17:30
(月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く))

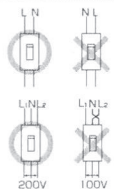
WS-TP用(取組説明書) 6081P

施工上のご注意 ※透明蓋タイプは機器に直射日光があたらない様に設置してください。

△警告

有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されています。

- 異常電圧が発生し電気器具を損傷します。
主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。相を間違えると異常電圧が発生します。
- 発熱により火災となる恐れがあります。
・定格電流を越える主幹ブレーカ取り付けしないでください。
・導電部の接続ねじは、右表の適性締め付けトルク範囲内で確実に締め付けてください。
・輸送などで接続ねじが緩む場合がありますので、必ず増締めを行ってください。
・電線サイズは最大想定電流に適合したものを使用してください。主幹ブレーカ・分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- ・分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
- ・圧着端子・圧着工具はJISマーク品を使用してください。
電線に適合した圧着端子を使用してください。
- ・主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、及びブリスベースからの仮配線は行わないでください。
- 不十分な接続は、感電・火災・電気器具の損傷となります。
アース線の接続は、内線規格1335節「電線」にしたがって接続してください。
- 内部回路が破損し、動作しなくなります。
線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障します。
- 不要な動作原因になります。ブレーカ定格電流の80%以内で使用してください。



■導電部の接続ねじ適正締め付けトルク

ねじの呼び径	締め付けトルクN・m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.0
M8	5.5～7.0

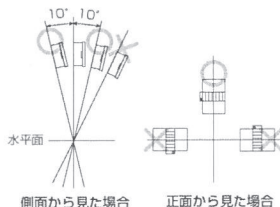
備考：絶縁端子M5圧着方式の場合は2.0～2.5N・m

■主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐ブレーカの定格電流	電線サイズ
20A	φ1.6、φ2.0
30A	φ2.6、5.5～8mm ²
40A	8～14mm ²
50A・60A	14mm ²
75A	22mm ²
100A	38mm ²

△注意

- 性能・機能を損なう場合があります。
・高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など異常な環境での使用は避けてください。
・仮設ボックスは、右図中に示す範囲内で使用してください。
・仮設ボックス前面には、障害になるものを置かないでください。
- 誤って使用すると電気器具を損傷します。
分岐回路を200Vで使用する場合は、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用し、200Vの表示をしてください。



取扱上のご注意

△警告

有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されています。異常(発熱・臭い・煙など)がありましたら、直ちにブレーカを「切(OFF)」にして電気工事業者へ連絡してください。そのまま使用すると火災・故障の恐れがあります。

- 感電する可能性があります。
・現場関係者以外には、触らせないでください。
・濡れた手で器具に触れないでください。
- 感電・火災・器具損傷の恐れがあります。
・雨が器具にかからないよう必ず蓋を閉めてご使用ください。
・ボックスが損傷したままのご使用はお止めください。

△注意

安全にご使用いただくため、年1回程度は、点検を電気工事業者へ依頼してください。不具合がありましたら、速やかに交換してください。

- 性能・機能を損なう場合があります。
・高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など異常な環境での使用は避けてください。
・仮設ボックス前面には、障害になるものを置かないでください。
- 主幹ブレーカを有するものにおいては、主幹ブレーカが正常に動作することを月1回程度確認してください。
- 感電事故や火災事故の恐れがあります。
ブレーカが自動的に切れた場合は、原因を取り除いてからハンドルをON(入)にしてください。ブレーカが自動的に切れた場合は、原因を取り除いてからハンドルをON(入)にしてください。

